

令和7年度

幼稚園だより 12月号



絵本との出会い

園長 篠澤 恵理

幼稚園では、絵本の読み聞かせをする時間を大切にしています。本郷図書館からは、毎月50冊の絵本や紙芝居を借りています。教育時間だけでなく、預かり保育の時間にも、絵本や紙芝居に親しめるようにしており、子どもたちが楽しみにしている時間になっています。絵本を見ながら友達が笑うと、思わずつられて一緒に笑うこともあります。「面白い」と心が動いたときに、自分と同じように感じる人がいることが分かったら、より楽しさが広がるようです。

年少組では、読み終わった後すぐに「もう一回読んで」という声が上がります。また、隣のクラスの子に、「これ面白いよ」と絵本を差し出して見せることもあります。楽しいことを、「誰かに話したい」と思う気持ちが芽生えていることを嬉しく思います。

年中組では、絵本の中で繰り返し出てくる言葉を覚えて、同じような場面になると一緒に唱えることもあります。登場人物になりきって動いてみると、その時の気持ちに合った言葉を思い浮かべながら、やり取りをすることを楽しんでいます。

年長組は、週に一度幼稚園の絵本を借りています。クラスで読んでもらった絵本を「もう一度見たい」と思って借りることがあります。大好きな絵本と出会うと、同じ絵本を何度も借りることもあります。好きな場面を繰り返し眺めることで、細かな描写にも気付いたり、新たなイメージを広げたりしています。絵本を読み聞かせている時の子どもの表情の変化をよく見ると、頭の中に思いを巡らせていることが伝わってきます。登場人物の気持ちに自分を重ねて、喜んだり悲しんだりすることは、自分とは違うものの見方や考え方を知り、感じたことを言葉で伝える経験にもつながっています。

ご家庭で絵本を読み聞かせる時には、子どもを膝にのせたり、布団の中で横並びになったりするなど、親子が触れ合える豊かなひとときであると思います。読み終わった後、頁をめくりながら、「この絵が好き」「ここが面白い」など、感じたことを言葉に表すことがあります。思い浮かべたことをもう一度なぞりながら、自分の知っている言葉で表そうとすることで、言葉の表現力も増していきます。親子で一緒に振り替える時間もまた大切にしたいものです。なかなか絵本を読んであげる時間をつくるのが難しい日もあるかもしれませんが、子どもの心が豊かに育つことを思いながら積み重ねていかれることを願っています。お子様が大好きだと感じる本に出合えますように。

今年も、園の教育内容にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。皆様よいお年をお迎えください。



【自然観察会】プロ・ナチュラリスト 佐々木 洋氏と一緒に、園庭の秋の自然を見付けました。